

大型クラゲの出現状況

(令和2年7月22日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構及び関係機関が実施した調査によると、東シナ海や対馬海峡において大型クラゲが確認されており、日本でも対馬の定置網で出現が確認されています。

- ・ 6月下旬～7月上旬にかけて、東シナ海と対馬海峡において大型クラゲの出現が確認されており、7月6日には長崎県対馬市の定置網で20個体が確認されたとのことです。
- ・ これらの情報によると、昨年見られた日本周辺への早期出現の傾向が今年は弱く、出現量も昨年同期を下回っています。
- ・ 日本海における大型クラゲの移動予測計算の結果によると、来遊群の先端は8月上旬に能登半島、9月上旬には津軽海峡に達すると予測されています。
- ・ 大型クラゲの目撃や入網がありましたら、水産振興センターまでお知らせください。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ
(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター
資源部 高田

電話 0185-27-3003

Fax 0185-27-3004